当寺の読経のスタイルは、基本的に同朋唱和(どうぼうしょうわ)と申しまして、皆さんご一緒に唱えることを目的にした唱え方をして、皆さんにお経に触れて頂けるようにしています。真宗大谷派勤行集の目次には、正信偈(草四句目下・そうしくめさげ)とあります。この耳慣れない「草四句目下」という言葉で、唱え方のスピードなどを指定しています。この「草」とは、書道で言う「草書」です。崩して速く唱える唱え方という意味です。四行を一息で、つまり息継ぎなしで唱えるのです。そして四句目の音を下げるので「四句目下」と言うのです。書道で「草書」があれば、「行書」もあります。「行四句目下」と言います。では「楷書」はと申しますと、「楷四句目下」ではなく「真四句目下」(しんしくめさげ)と言います。これは四行一息ではなく、一行一息で唱えます。当寺でも、親鸞聖人報恩講の折にだけ唱えています。最も、丁寧な唱え方でスピードもゆっくりになります。その他にも、葬儀の際のお勤めは、真読(しんどく)とか中読(ちゅうどく)と呼ばれる唱え方で、ご門徒の皆さんと一緒に唱えることはないものです。場面に応じての使い分けがあるのです。

クイズに答えて景品をゲットしよう!!

正解者の中から抽選で5名様にお花の苗ポッドをプレゼント。問: 先月、18年ぶりのリーグ優勝を決めた阪神タイガースの監督は誰でしょう?次の中から1つ選びなさい。

① アレ監督 ②掛布監督 ③岡田監督 答えの番号と感想と、住所・氏名をハガキか fax で徳成寺まで送って下さい。fax の受付は、朝8時~夜9時までとさせて頂きます。

〒760-0017 高松市番町 2-13-25 宛て 徳成寺ハッピープレゼントクイズの係まで ふるってご応募下さい。毎月22日締切 当選者の発表は景品の発送に代えさせて頂きます。 *先月の答え、③のマイナ保険証でした。読者の皆さんからのクイズお待ちしています。





100年前に本当にあった事件を映画化した「福田村事件」を観ました。

関東大震災のあった後、千葉県の福田村に香川県から薬の行商に来ていた15人のうち幼児、妊婦も含めた9人が殺されました。喋り方がオカシイ、朝鮮の扇子を持っている、と朝鮮人と間違えられたのだそうです。常日頃から朝鮮人を痛めつけ差別しているので、大震災の後、集団心理も働いて嘘のような噂が流れて村人たちは追い詰められ、暴走していきます。

被害者達が香川県民ということもあって、130分の映画でしたがみっちりと座ってきました。「朝鮮人なら殺してええんかっ!」と行商人の親方の叫び声が心に残ります。殺してもいいいのち、殺してはいけないいのち、どこで線引きをするのでしょうか。それは時代が時代だったから、などと軽く流しているとすぐにそんな時代に逆行しますよ。

差別する人される人、それを傍観する人煽る人、もしも100年前の福田村事件 に遭遇したら、あなたの立ち位置はどこですか?